

政策提言フォーマット

1 団体概要

団体名	所在地
藤前干潟を守る会	名古屋市昭和区吹上町1-29-1-211
代表	
辻 敦夫	
担当	連絡先
IAN HERNETT	tel 052-722-6736
	fax 052-722-6736
	e-mail harnetik@kinjo-u.ac.jp

団体の活動プロフィール

藤前干潟を守る会は1984年、伊勢湾の最後の大規模渡り鳥渡来地である藤前干潟（120ha）が名古屋市的一般ゴミ最終処分場として埋立て計画が発表されて以来、干潟の保全と「使い捨て社会」から決別し、循環型社会、ゴミ行政と転換させるべく15年にわたる市民運動を展開し、1999年1月ついに名古屋市のゴミ埋立て断念を得た。

本政策提言を行なうWS - Project委員会は、そのサブ組織として、1995年から、愛知万博構想へ藤前干潟とその源流部の森である、海上の森 当時の会場予定地 を共に保全し、それを見せることと、20世紀型の開発跡地や未利用干拓地、埋立地などを修復しながら、そこで、21世紀に持続的に生存可能なビジョンと実践モデルを示す構想として、提示してきた、2000年の愛知万博の基本構想が、新住宅、道路を中心とし、「市民参加型の環境博」をめざすことになって、その検討会議に提案を行なってきた。

政策提言フォーマット

2 政策提言概要

(政策提言のエッセンスを下記フォーマットに基づいて紹介して下さい。)

<p>(1) テーマ 2005年日本国際博覧会を21世紀社会への環境博にすること</p>
<p>(2) 政策対象分野 総合的政策</p>
<p>(3) 政策手段 環境省として、21世紀ビジョンを“環境博”の理念に盛り込む</p>
<p>(4) 提言概要 2005 ECO WORLD EXHIBITION AS VEHICLE FOR CHANGE AND INNOVATIVE POLICIES(by IAN HARNETT)の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、地球上で最も深刻な環境課題は地球温暖化とその対策 1997京都宣言 。CO2削減がアメリカの反対などで進展していないことにある。そのアピールと世界的な協調を図る最良のチャンスが1997年緊急削減宣言をした名古屋市、愛知県が関わる2005年「愛知万博」である。 ・ 従って、2005年の国際博は、この点に最も力を入れ、CO2削減を基礎に置いたCEPクリーンエネルギー、CATクリーン大気技術、ZEVゼロエミッション、ZAP大気汚染ゼロ、の太陽熱、風力、潮力、地熱エネルギーの開発をもって、21世紀の人類及び地球生態系が、持続的に生存可能な道を指し示すことが必要であり、第一義的政策課題とすべきである。
<p>(5) 政策の推進に当たっての検討事項</p> <p>現在、進行中の愛知万博計画は、以上の重要なコンセプトを不十分にしか含まず、作り直しが必要となる。</p>